

【労務管理者協議会】

■第129回幹事会および50周年記念行事委員会を開催

当協議会は1月21日高知会館において、標記会議を開催した。参加者は11名。

会議では最初に事務局より令和3年度事業活動と収支決算について報告し会計監査は総会までに終了することで了承を得た。続けて令和4年度事業計画案は、運営の基本的な方針に変わりなく、労働法改正に伴い本年に施行となる育児・介護休業法、パワハラ防止法、女性活躍推進法や人事管理面でのワークライフバランスに重点を置き研究例会を開催していくことを報告。令和4年度の収支予算案については、本年で当協議会が創立50周年を迎えるにあたり周年記念行事に向けて保有してきた会費を会員全員に還元できるように記念式典開催費用や会員への記念品配布のための費用を計上し予算への見直しの要請があり、修正した予算案を総会にて協議することで了承を得た。また、本年は2年ごとの役員の改選年にあたり平成16年より幹事として尽力いただいていた 森社会保険労務士事務所 所長 森由枝氏が退任されることになり後任として 中澤氏家業株式会社 総務部長 門田充代氏が幹事に就任する人事改選案についても総会に提案することの了承を得た。

幹事会終了後、50周年記念行事委員会に移行し、周年記念企業視察と周年記念セミナー開催について検討。

- ① 県外企業視察案は、県下でも南海地震発生の危険度が高くなっていることから、10月に2泊3日で仙台を中心に震災から復興に取り組みしている企業や震災現地の視察計画を進めることで賛同を得た。
- ② 周年記念セミナー開催案は、12月2日（金）に第一講師候補を安藤桃子氏、第二講師候補を門田隆将氏で調整し会場はセリーズ、講演は経協会員全企業に案内する計画が了承された。



■1月例会／判例研究会を開催



当協議会は1月21日に高知会館において、稲垣法律事務所 弁護士 稲垣健吾氏を招き判例研究会を開催した。判例事案は、違法な雇止めと不法行為に関連した「従事プロジェクト終了以降の雇用契約の更新期待の合理性が否定された例：高知県公立大学法人事件」と、心理的負荷による精神障害の認定基準に関連した「単独では心理的負荷「強」の出来事は認められないが、総合的には「強」として業務起因性が肯定された例：国・和歌山労働基準監督署長事件」について解説していただいた。参加者は11名。